

2026年2月27日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行  
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直し、消費関連は一部で持ち直し、観光関連はやや持ち直している。一方で、生産活動、投資関連は弱含み、雇用関連は弱い動きとなっている。全体として改善傾向は見られるが、今後の賃上げや物価の動きに注意する必要がある。

生産活動は、11月の鉱工業生産指数が4か月ぶりに前年を下回った。電子部品・デバイス、窯業・土石製品は前年を上回ったものの、食料品、汎用・生産用機械は前年を下回った。

畜産関連では、1月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5は前年を下回り、去勢A4はほぼ前年並みだった。豚肉は前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、12月のドラッグストア販売額、1月の軽自動車届出台数は前年を上回り、12月のコンビニエンスストア販売額はほぼ前年並みとなった。一方で、12月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、1月の乗用車新車登録台数は前年を下回った。

観光関連では、1月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は4か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は4か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を下回った。

投資関連では、民間建築工事費予定額は前年を上回った一方、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、12月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント上回る1.04倍となった。

### 【生産活動】... 弱含み

11月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数は前年を上回った。ただし一部では、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

12月の焼酎生産は、前年をやや下回った。県内への出荷は前年を下回ったものの、未納税移出が前年を大幅に上回り、出荷量はほぼ横ばいだった。

12月のかつお節生産は、3か月連続で前年を下回った。

1月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが7か月連続で前年を下回り、民間工事向けは5か月ぶりに前年を上回り、全体では24か月連続で前年を下回った。

1月の紙パルプ生産は、3か月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

### 【畜産関連】... 持ち直し

1月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。1月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が2か月連続で前年を下回り、去勢A4がほぼ前年並みだった。12月の枝肉生産量は前年を上回った。

1月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、6.2%減と2か月連続で前年を下回った。12月の枝肉生産量は前年を上回った。

1月のプロイラー相場（東京地区）は、もも肉は8.4%増と16か月連続で前年を上回り、むね肉は29.1%増と16か月連続で前年を上回った。1月の処理羽数は前年を上回った。

1月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により20.2%増と前年を大幅に上回った。12月の配合飼料価格は前年をやや上回った。

### 【消費関連】... 一部で持ち直し

12月の百貨店・スーパー販売額は、飲食料品はほぼ前年並みとなったものの、衣料品は前年を下回り、全体では3か月ぶりに前年を下回った。

12月の**専門量販店販売額**は、家電大型専門店は前年を下回り、コンビニエンスストアはほぼ前年並み、ドラッグストアは前年を上回った。

1月の**乗用車新車登録台数**は、7か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は16.3%減、小型車が14.7%増となった。1月の**軽自動車届出台数**は3か月ぶりに前年を上回った。

### 【観光関連】... やや持ち直し

1月の**主要ホテル・旅館宿泊客数**（鹿児島・霧島・指宿地区）は2か月連続で前年を上回った。海外のゴルフ需要を背景に、韓国からの入り込みや個人客が増加した。

**鹿児島地区**は、韓国からの入り込みや個人客が増加し、2か月連続で前年を上回った。

**霧島地区**は、韓国からの入り込みや団体客が増加し、2か月連続で前年を上回った。

**指宿地区**は、個人客、団体客ともに減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

**種子島・屋久島地区**は4か月ぶりに前年を下回り、**奄美地区**は4か月連続で前年を下回った。

1月の**主要観光施設入場者数**は、ほとんどの調査対象施設で前年を下回った。

### 【投資関連】... 弱含み

1月の**公共工事**は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

12月の**民間建築工事着工**は、棟数、床面積は前年を下回り、工事費予定額は前年を上回った。

12月の**新設住宅着工戸数**は、前年を下回り、4.6%減となった。貸家、分譲が前年を大幅に上回ったものの、持家が前年を下回った。3か月移動平均は前年を下回り、6.5%減となった。

1月の**主要建設資材卸売業者**の売り上げは、3か月連続で前年を下回った。

### 【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

12月の**輸出額**は、パルプ及び古紙、食料品及び動物、木材が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブが前年を上回り、全体では362.5%増と5か月連続で前年を上

回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年を下回り、全体で13.4%減と2か月ぶりに前年を下回った。

#### 【雇用情勢】... 弱い動き

12月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント上回る1.04倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業は前年を上回り、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

#### 【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

12月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.4%上回った。

#### 【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（7件）を2か月連続で下回った。また、負債総額は21億60百万円で前年同月（3億57百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)